

## 第6章 墓地の被害

町内全域にわたって墓石が倒れたり、墓地敷地が崩壊した。



溝口町福岡地内

▲山腹法面の墓も崩れる（平成12年10月11日撮影）



溝口町溝口地内

▲平坦地の墓石は、ほとんど倒れた（平成12年10月11日撮影）

## 第7章 文化財の被害

### 1. 震災時に於ける町内の文化財保護活動に付いての経過

平成12年10月6日午後1時30分に発生した鳥取県西部地震は、溝口町にも大きな被害をもたらした。このような状況下の中で倒・半壊した建物は町が業者に委託し、無料で撤去作業が行われることとなった。しかし町内に現存する貴重な文化財も建物の中に在って、同時に撤去焼却処分される事が考えられ、今を逸したら町内から永久に資料が消滅するので、町文化財保護審議会と協議をかさね、審議会委員がボランティアで保全活動を行うこととなった。(但し委員会全員共に被災者です)

被災を受け余震が続き精神不安の中で資料の受領依頼はどんなものかと考え、とりあえず町のCATVを通じて文化財の保全と町外への散逸防止を呼びかけた。

11月上旬、町の被害建物の撤去作業が始まると同時に多くの方々から文化財の引取り依頼があり、寒さと余震の続く危険な中ではあったが、町文化財保護審議会委員の方々の献身的な協力により、収集作業の多忙な日々が続いた。

とりあえず委託保管ということで預り、各戸ごとに物品の写真と名簿を作り再度伺った処、多数寄贈していただく事になった。

収集した物品は、それぞれ水洗・ふきとり・サビ落とし・油かけ若干の補修作業を行い、種類別に分類し品名を符して、旧日光小学校体育館に仮り保管をした。又古文書等は現在整理中である。



補修作業状況

## 主な寄贈品

### (1) 民俗資料

民俗資料は、絵画・彫塑のように鑑賞を主目的にするものでなく、人々が直接生活手段の一つとして使って来た意味をもち、使われなくなると次々に姿を消して行くものであるが、しかしその時代時代の地域環境の中で人々の生活様式を読み取ることができる、これが民俗資料である。

### 寄贈された主な民俗資料

品名	品名	品名
鋤	モーター付脱穀機	とうふ釜（台付）
二段鋤	計量器（台計り）	せんべい焼
馬鋤	棹秤 大・小	自在鉤
乗り馬鋤	斗枘（円形）	ガス灯
車馬鋤（細土）	斗枘（角形）	かんてら
田植定規	斗棒	ランプ
田植綱	とおし	手燭
田打車一連	万石	湯たんぼ
田打車二連	唐箕	猫火燵 大・小
苗床移植定規（穴つき）	唐竿	炭つぼ
畑用手押畝立機	鉤	炭桶
土入れ機	木ぞり（大型）	十能
れい機	石臼	高機
千歯	飯切り	// 道具一式
足踏脱穀機	馬桶	
繭毛羽取り	菜めんこ	
まぶし作り機	蒸し籠（三段）	
養蚕用コンロ	蒸し器（セイロ）	
張子鉢（柿しぼ）	も（む）ろぶた 大・中・小	
手籠	豆腐箱	
うなぎ籠	膳	
背負子	二ノ膳	
バラス背子	つのだる	
箆腰子	はんぞう	
わら腰子	金盤	
泥負子	てき	
滑車（車だんす）	ごとく	
台籠	椀籠	
柳こうり	飯ぞうき	
おひつ 大・小	手鍋 8升	
めんこ	手鍋 5升	
押し絵雛台付	唐器類	
雛人形（ガラスケース）	木地椀類	
雛天神（ガラスケース）	馬桶	
鏡台 旧	箕	
裁縫箱	たころばち	
布団	すげ傘	
衣類	むしろ	
手バリカン	吠	
バリカン	にかわ	
金庫	えいじ	
倉 マイラ戸	つかり	
倉中戸	ひきお	
屋根屋鋺（こて）	わらじ	
屋根屋鋺	牛の鞋 大・小	
ししヤリ	背子	
龍吹水	連干縄（葉煙草）	
大木ぞり	かんびょう皮はぎ機	
スキー	銅子	



箕



田植定規



おひつ



石臼



漏斗 (柿しぶ)

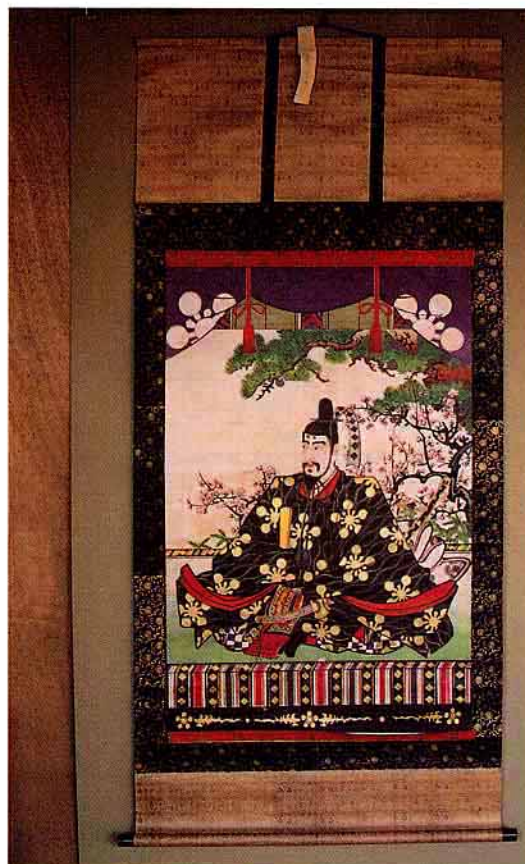


雛人形

## (2) 書画



「親王小四段」軸



「上天神」軸

書や絵画の軸物をはじめ、のぼり、屏風等沢山の品々を寄贈していただいたが、その中でも特にいたみがひどく修復の急がれた嗒然作の屏風（六曲一双）については平成13年3月に修復作業を完了している。引きつづき仕分け整理・筆者の解明等々の作業を順次行っている。

※嗒然は、寛政8年皆生（海池）村に生れ、文化3年（1806）11歳にて大山寺観解院に入り、文化4年（1807）2月剃髪・台貫と号する。

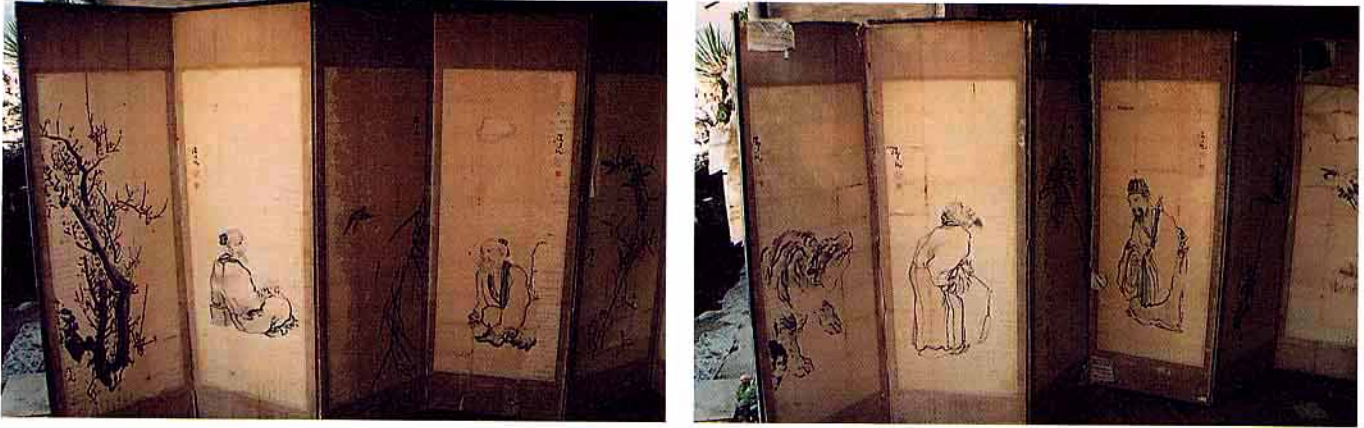
西伯耆・安来を中心とする出雲の一部の富豪たちに画家として迎えられ、大山の峰を仰ぐ地域に数多くの作品を残した。

書画に捺されている「佐主」「式主」の古銅印は現在安来の清水寺に収蔵されているが、もとは安来の並河三郎兵衛から嗒然が借受けていたものであるとされている。

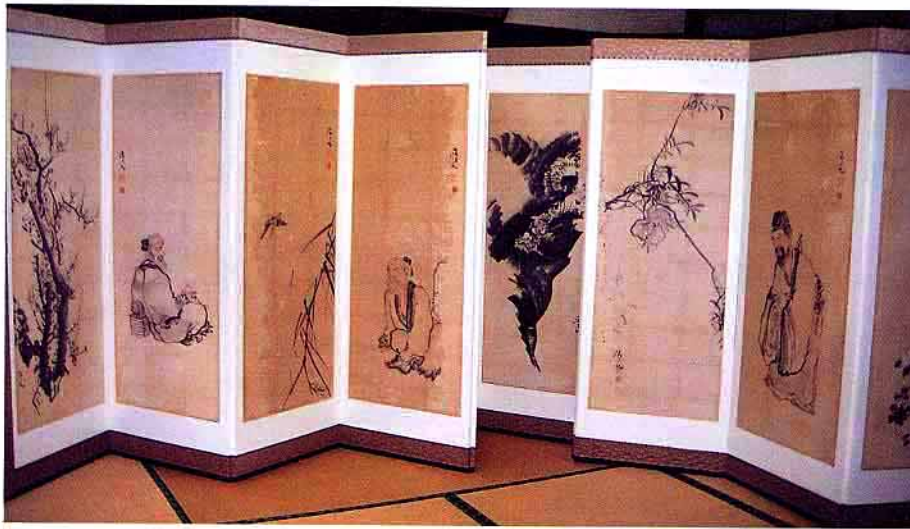
歿年 文久元年（1861）12月6日 66才  
（『嗒然書画集』 立花書院の中から）



のぼり



嗒然作屏風（六曲一双）修復前



修復後



屏風に捺されている古銅印「佐主」



収納状況

## 2. 指定文化財及び町所有美術品の震災被害について

町指定文化財は7件あるが、震災の被害を受けたのは、藤屋炉床（福居）と、見出神社跡（大内）の2件である。他に県指定無形民俗文化財福岡神社神事（福岡）に使用される神楽殿が被害を受けた。町所有美術品は、辻管堂作「拓士の像」が被害を受けた。

炉床とは、近世のたたら製鉄において、鉄を精錬するために造られた炉の地下構造物である。藤屋炉床は、昭和52年、道路拡張工事の際発見された。当初は、覆い屋のみで保存されたが、年々風化が激しくなったため、平成5年、埋め戻した。今回の震災では、この埋土が崩落し、覆い屋も破損した。また、それに伴い「小舟」と呼ばれる地下構造物の一部が破損したが、この「小舟」の破損は、幸いにもごく小規模なもので現在では、再度埋め戻され、覆い屋も修復されている。



藤屋炉床



藤屋炉床「小舟」

見出神社は、後醍醐天皇ゆかりの地と言う伝承が残された神社である。現在、現地に神社の建物は無いが、鳥居が残されている。この鳥居は、現地に残された構造物としては唯一の遺物で、文久元年造立の銘が彫られている。この鳥居が今回の震災により倒壊した。当初、破損が著しいため修復が可能かどうか危ぶまれたが、修復され、元の位置に建てられている。



見出神社鳥居

県指定無形民俗文化財福岡神社神事（蛸舞式神事）は、神社の縁起にちなみ、裸の氏子が神楽殿の丸梁に抱き着き、その氏子を他の氏子が下から回転させるという奇祭で、この神事の次第から、神楽殿は神事を行うために是非必要な建物で、永い間維持されてきた。今回の震災では、倒壊はまぬがれたものの、座及び土台が破損するという被害を受けた。座・土台の修復には、一度建物を水平にする必要があり、費用のかかる難工事であったが、修復され、現在では神事も再開されている。



福岡神社神楽殿



福岡神社神楽殿土台

町所有美術品「拓士の像」は、本町出身の彫刻家辻晋堂氏が、昭和16年制作したもので、二部小学校正門に建てられていたが、セメントの劣化が激しくなったため平成元年ブロンズ化され、原像は町民体育館に移された。この原像は、平成11年、保存と鑑賞により適した場所、鬼の館ホワイエに移されたが今回の震災では、幸いにも像自体に被害は受けなかったが、像が台座とともに約10～20cm移動した。若干の移動とはいえ、この像の重さは、台座も含めると約6.6tあり、この重さと貴重な美術品という点から、復旧作業は大変慎重を要する作業でしたが、無事元の位置に戻されている。



辻晋堂作「拓士の像」





## 第4部 溝口町の避難の状況

### 第1章 総括

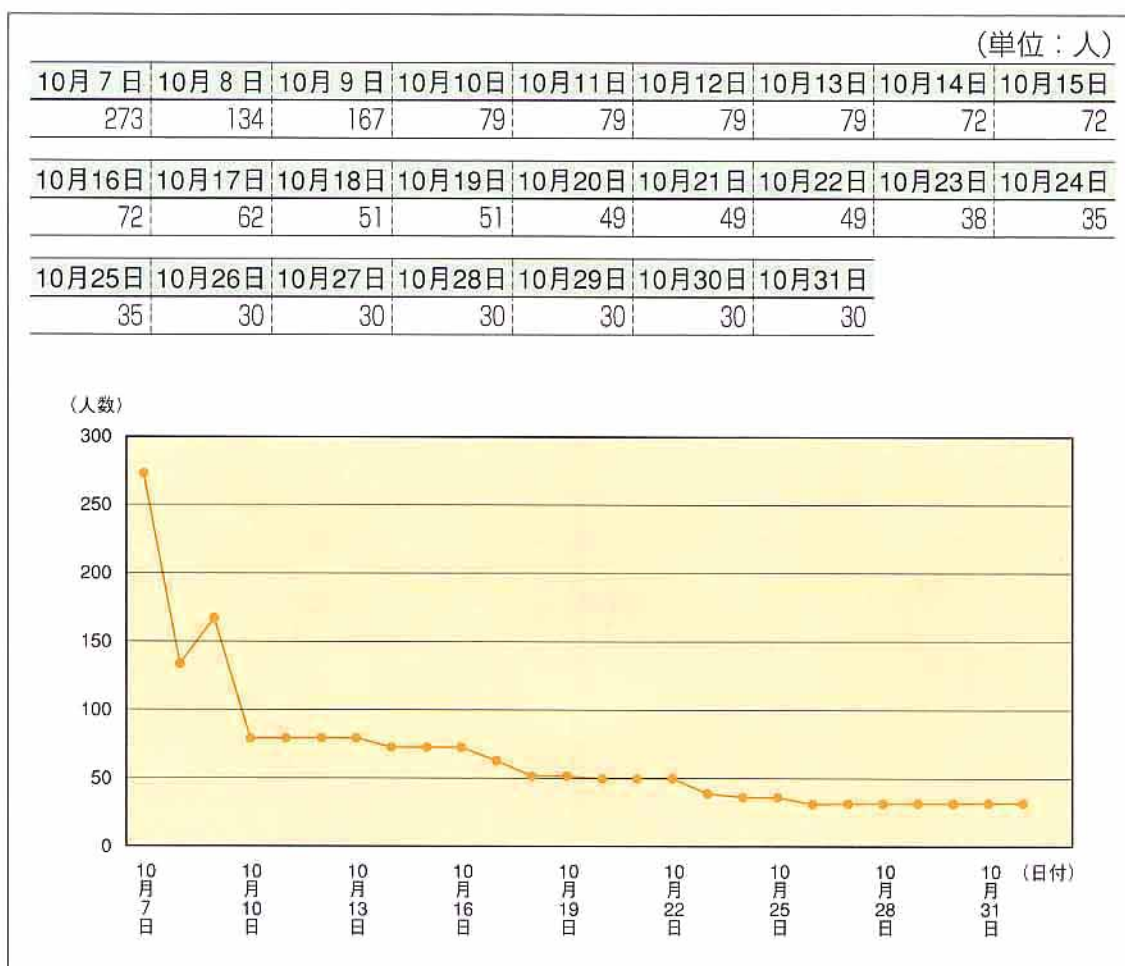
## 第1章 総括

溝口町内の避難状況は、度重なる余震により住宅の崩壊や土砂崩壊などの危険を回避するため、10月7日大坂地区に避難勧告を発令、この夜には、273名が三部文化センターや神奈備ふれあい会館、地区集会所などに避難した。

また、10月8日には、大雨で土砂崩壊の恐れがあるため、父原地区に避難勧告が発令された。

10月9日には、避難者が167名あったが、その後減少していった。

### 避難者数





二部保育所

▲お昼ねの最中地震があり、机の下に避難した園児  
(平成12年10月6日午後1時55分撮影)



溝口小学校

▲地震直後、グラウンドへ避難した児童  
(平成12年10月6日午後1時50分撮影)



三部文化センター

▲住宅が壊れたり、余震が怖くて避難所へ集まった住民  
(平成12年10月7日午後3時40分撮影)



# 第5部 溝口町の ボランティアの状況

## 第1章 総括

## 第1章 総括

地震の2日目、役場庁舎が使用禁止となり、仮庁舎への移転等でごった返す中、県内外からボランティアとして申し出があり、地震3日目、倉吉市・関金町の職員を受け入れ、仮庁舎への移転作業に従事した。

その後、自衛隊を始め、金融機関や個人の方々など数多くの支援を受けながら、ガレキの撤去や屋根のシート掛けなどお年寄りには出来ない作業をお願いした。

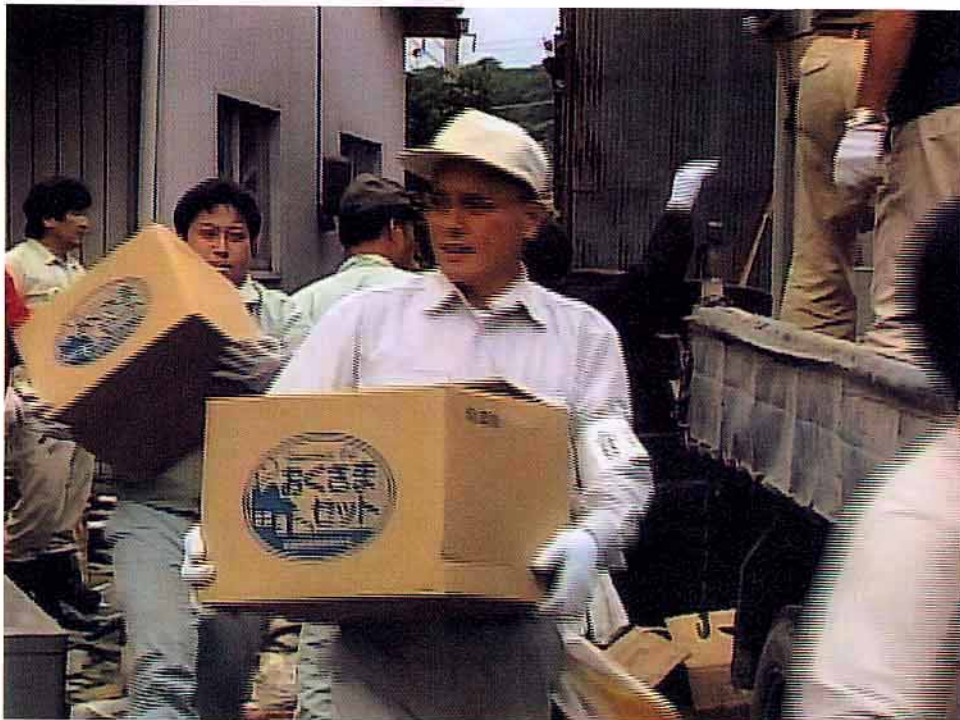
また、避難所などの炊き出しは、溝口町食生活改善推進員・溝口町赤十字奉仕団のボランティアで賄った。

### ボランティアの人数

	人数		人数		人数		人数
10月7日		10月15日	50	10月23日	14	10月31日	7
10月8日	88	10月16日	8	10月24日	6	11月1日	
10月9日	49	10月17日	23	10月25日	10	11月2日	
10月10日	23	10月18日	21	10月26日	2	11月3日	
10月11日	8	10月19日	23	10月27日	2	11月4日	7
10月12日	6	10月20日	8	10月28日	19	11月5日	
10月13日		10月21日	14	10月29日	19	11月6日	
10月14日	27	10月22日	6	10月30日		11月7日	2
						総合計	442



▲ブロック塀のガレキを片付けるボランティア（平成12年10月8日撮影）



▲書類等を運ぶボランティア（平成12年10月8日撮影）



▲ブロック塀のガレキを片付けるボランティア（平成12年10月8日撮影）



▲ブロック塀のガレキを片付けるボランティア（平成12年10月8日撮影）





▲住宅に倒れていた立ち木を整理するボランティア  
(平成12年10月15日撮影)



▲避難者等の炊き出しを担当するボランティア（溝口町食生活改善推進員）  
(平成12年10月13日撮影)



▲避難者等の炊き出しを担当するボランティア（溝口町赤十字奉仕団）  
（平成12年10月13日撮影）



▲被災者にソバをふるまう鳥取そばネットワーク（平成12年11月1日撮影）



▲根雨保健所保健師によるメンタルケア（平成12年10月13日撮影）



▲根雨保健所保健師によるメンタルケア（平成12年10月13日撮影）